

地域の活動紹介します ～地域活動レポート～

久留米市では、「支え合うところあふれるまち くるめ」の実現を目指し、様々な活動が展開されています。今回は、校区の取組みに焦点をあてて、特色ある活動についてご紹介します。

子どもたちと一緒に花植え ～彩り～

実施主体 青峰校区社会福祉協議会・青峰小学校

青峰校区社会福祉協議会(以下、「校区社協」)では、小学校との連携による交流事業として、高齢者へのお弁当づくり&ミニ交流会を実施していました。しかし、コロナの影響で開催することが難しくなりました。

そこで校区社協と小学校では、「何か思い出に残ることをしたい」「ふれあえる機会を作りたい」と、昨年3月に花植えを行いました。6年生と校区社協役員・ボランティア、先生たちが参加し、卒業式や入学式に「彩り」を添える取組みとなりました。

さらに、秋には環境飼育委員会の子どもたち(4、5、6年生)と一緒に校門周辺に、来校者をお迎えするための、色とりどりの季節の花を植えました。



プランターに花を植えました



6年間の思い出話にも花が咲きます

地域の声

- みんなで花を植えて楽しかった。
- 地域と学校が一緒になって交流できるのは嬉しい。今後も継続していきたい。
- コミセンにプランターを寄贈したところ、来館者より「素敵ね」という声があった。

団体間の連携による新たなつながりづくり

実施主体 ワンダフルデイ金丸
(校区社会福祉協議会やふれあいの会等の有志の集まり)

市内のフードバンク団体と連携し、希望する世帯に対して食料をお渡しする活動に取り組んでいます。

「ひとり親世帯に向けた取組みを始めたい」という思いをきっかけに活動が始まり、現在では第1金曜日に高齢者世帯、第3金曜日はひとり親世帯に食料を提供しています。

活動を続けるうち、お互いに話をする機会も増えました。時には「新しい資格を取ろうと頑張っています。」という前向きな近況報告を聞いたり、高齢者世帯からは「足腰が弱く、買い物が大変なので助かる。」という感謝の言葉をもらったりするそうです。

今後は、この活動を軸にした新しい取組みも検討していて、食料の提供にとどまらないつながりの方法を考えたいとのことでした。



青パトを活用しています



今回紹介した取組みの詳細は、市社会福祉協議会で作成・配布している「くるめのおたからあつめました～地域福祉活動事例集～」に掲載しています。本会ホームページでも閲覧可能ですので、ぜひ地域での活動にお役立てください。

